

翔生塾

翔生塾は、全国 28,000 人の青年部メンバーの意識と資質の向上を目指した研修事業である。時代の変革と共に研修内容及び方法が変化。講義を受講する受動的な研修から能動的な双方向型研修に移行している。

経営に役立つ知識を習得し、習得した知識を人に伝え、最終的にはディスカッションをすることといった三段階の研修方式である。人に伝えることを前提にした講義は、聞き手の意識が高まる。人に伝えることの難しさも経験することとなる。真剣に知識を習得し人に伝えた内容の議論は自ずとレベルが高いものとなる。

平成 24 年度は新たな取り組みとして、全国から集まって行われる翔生塾を各単会や県連に持ち帰って同じ内容の研修ができるシステムを構築。研修内容をパワーポイントにまとめることで、翔生塾を受講したメンバーはいつでも講師となることができるような仕組み作りを行った。

研修システムのレベルアップを図ってきたが、次のステップは研修内容の充実が必要と考える。経済状況や財務諸表、税務、国際情勢、地域社会、教育等、若手経済人として必要な知識や議論は幅広くなっている。会員の意識と資質の向上の為、戦略的な内容構築が今後の課題であると思う。